

香川県・三木町

小児生活習慣病予防検診

香川県木田地区医師会

柴崎三郎・松原奎一

説明ポイント

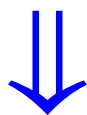
1. 実施方法
2. データ概要
3. フォローの実際
4. 検討：
 - ① 血液検査の必要性について
 - ② 検診の有効性について
 - ③ 健康教育での学校医の役割等
5. Q & A

香川県・三木町・小児生活習慣病検診 実施方法



三木中学校での生活習慣病予防検診

生徒の生活改善



家族の生活改善



家族も一緒に
生活習慣病予防！

同じ体質・環境の家族も、生活習慣病になりやすい

健診視点の推移

昭和32年(1957) 平成8年(1996) 平成17年(2005)

食育基本法

成人病 ⇒ 生活習慣病 ⇒ メタボリック
・シンドローム

早期発見
早期治療

病気予防

内臓脂肪

三木町・小児生活習慣病予防検診の概要

対象: 小学4年生・中学1年生の希望者

実施期間: 小学校 / 2009年～2012年(4年間)

中学校 / 1987年～2012年(26年間)

方法: ①一般身体測定 / 身長、体重、血圧、腹囲

②昼食前採血 / 一般血液、肝機能、血糖、脂質など
(中学校では、2009年まで、早朝採血)

③アンケート調査 / 家族歴、生活習慣、出生体重など

事後フォロー: ①個別判定通知

②説明会(小学生:全体、中学生:個別)

③個別フォロー(学校医・養護教諭・栄養教諭
→かかりつけ医)

平成17年 食育基本法

食育

遺伝性素因

過食・飽食

運動不足

内臓脂肪蓄積

(アディポサイトカイン)

糖尿病

高血圧

脂質異常症

動脈硬化

メタボリック・シンドローム

食育の必要性

知育

徳育

体育

食育

健康で豊かな人間性を育てていく基礎

自らの食について考える習慣や、食に関する様々な知識と、食を選択する判断力を、楽しく身に付けるために。

(子どもへの食育を通じて大人自身もその食生活を見直す ⇒ 日本人の食の再構築)

小児メタボリックシンドローム 診断基準(厚生労働省研究班):6~15才

メタボリックシンドロームの診断基準

必須項目

内臓脂肪蓄積
ウエスト周囲径 男性 $\geq 85\text{cm}$
女性 $\geq 90\text{cm}$
(内臓脂肪面積 男女とも $\geq 100\text{cm}^2$ に相当)



選択項目

これらの項目のうち2項目以上

高トリグリセリド血症 $\geq 150\text{mg/dL}$
かつ/または
低HDLコレステロール血症 $< 40\text{mg/dL}$

収縮期(最大) 血圧 $\geq 130\text{mmHg}$
かつ/または
拡張期(最小) 血圧 $\geq 85\text{mmHg}$

空腹時血糖 $\geq 110\text{mg/dL}$

*CTスキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。
*ウエスト周囲径は立ったまま、軽く息をはいた状態で
へそまわりを測定する。
*高トリグリセリド血症、低HDLコレステロール血症、
高血圧、糖尿病に対する薬剤治療を受けている場合は、
それぞれの項目に含める。

日本内科学会雑誌 94(4),188,2005

<必修>

腹囲 \geq 中学生 80 (小学生 75) cm
又は、腹囲/身長 ≥ 0.5

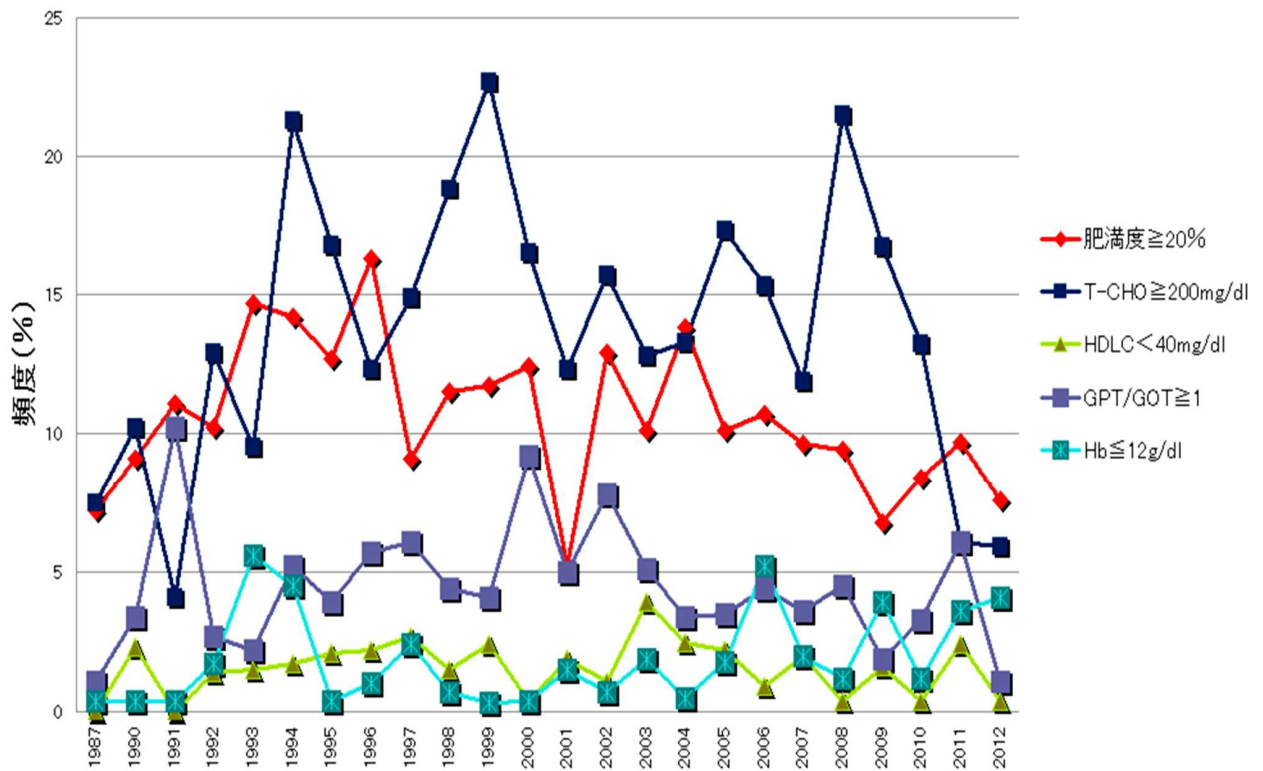
<選択>

以下のうち、2項目を含む

- ① 中性脂肪 $\geq 120\text{mg/dl}$
HDL-C $< 40\text{mg/dl}$
- ② 血圧 $\geq 125 / 70\text{mmHg}$
- ③ 空腹時血糖 $\geq 100\text{mg/dl}$

香川県・三木町・小児生活習慣病検診 データ概要

三木中学校・検診・異常値頻度



体格(身長・体重)の変化

